

令和6年度 第3回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日時:令和6年10月31日(木) 9時59分～10時38分
2. 会場:鹿屋体育大学大会議室(web 同時開催)
3. 出席者:【学内委員】金久、前田、猪村、印南の各委員
【学外委員】上治、小川、宮嶋、森岡の各委員
4. 欠席者:中西、藤本の各委員
5. オブザーバー:武隈監事、小林監事
6. 列席者:北村学長補佐、田巻学長補佐、竹中学長補佐、藤田学長補佐、事務局次長、
教務課長、学生課長、国際・学術情報課長、研究・社会連携課長、総務課長、
経営戦略課長、施設課長、監査室長
7. 内容:
(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)
議事に先立ち、金久学長から、9月1日に就任した武隈監事及び小林監事の紹介が行われた。

1)確認事項(確認資料1)

令和6年度第2回の議事要旨案について確定された。

2)審議事項

- (1) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる鹿屋体育大学の適合状況等に関する報告書
(公表版)について(資料1)

田代総務課長から、配付資料に基づきガバナンス・コードの適合状況報告書について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、本件に関連して以下のとおり委員から質問や意見が寄せられた。

○:補充原則1-3⑥(2)に関して、外国人の教員や障がい者の採用についての今後の計画を教えてください。

●:現在雇用している外国人は外国語教育関係の教員1名のみである。人事的な運用については、予算の都合もあり、その点が課題だと認識している。国立大学全体としては、2040年に向けて留学生を増やす努力をする方針が打ち出されており、外国人の雇用についても必要だと考えている。具体策については、教員の年齢や状況にも影響されるため、すぐにお答えできない状況であるが、将来を見据えた検討を行いたい。

○:様々な地域から外国人を受け入れるための具体的なロードマップを作成していただきたい。

- (2) 国立大学法人鹿屋体育大学非常勤職員就業規則の一部改正について(資料2)

田代総務課長から、配付資料に基づき非常勤職員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

3)報告事項

- (1) 令和7年度鹿屋体育大学概算要求について(報告資料1)

猪村委員から、配付資料に基づき令和7年度鹿屋体育大学概算要求について報告があった。
また、以下のとおり委員から質問が寄せられた。

○:施設整備補助金事業は2件とも要求しているということか。また、現状はどうか。

- :2件とも要求しているところ。また、現状としては、2件の採択が難しいことや、実験研究棟については、学内での対応・整理が十分ではないため、屋内実験プールの改修を最優先として、文科省との交渉を進めている。

(2) 令和5事業年度財務諸表の承認について(報告資料2)

猪村委員から、配付資料に基づき令和5事業年度財務諸表が承認されたことについて報告があった。

(学内外の諸情勢について)

(3) 学生の競技成績について(令和6年6月～9月)(報告資料3)

竹中学長補佐(競技力向上担当)から、配付資料に基づき、学生の競技成績について報告があった。また、以下のとおり委員より質問や意見が寄せられた。

- :学生たちが素晴らしい成績を収めているが、卒業後の受け入れ先はあるのか。
- :競技力の高い学生が卒業後も活躍できるよう、大学として支援する方法を現在検討している。
- :アスナビ(JOC の就職支援制度;企業と現役トップアスリートをマッチングする)などを活用し、日本代表になる可能性のある選手には、大学から積極的に卒業後の進路の相談に乗り、卒業後も引き続き競技に取り組めるようサポートした方がいいのではないかと思います。

(4) 本学関係者の活躍について(報告資料4)

あべ松事務局次長から、配付資料に基づき本学関係者の活躍について報告があった。また、以下のとおり委員から質問や意見が寄せられた。

- :パリ五輪で金メダルを獲得した杉野選手に関して広報などの計画はあるか。
- :大学関係のイベントとして、競技力向上のセミナー等を開催する予定がある。
- :鹿屋体育大学の力を学外に示すいい機会だと思うので、うまく広報につなげられるといいのではないかと。

4) その他

(1) 令和6年度の経営協議会開催日程について(その他資料1)

田代総務課長から、配付資料に基づき、次回以降の経営協議会の開催予定について説明があった。

以 上